

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 827

事業名	技能功労者表彰		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	商工総務費・1目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	南あわじブランドの確立【商工業】			
	施策目標	南あわじ市の特産品、産業技術、風土、特徴を全国・世界に発信すべく、官民協働のプロ集団の育成と研究・実践活動を進める			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市内に居住し、かつ職場を有する技能者で現に表彰にかかる技能を有する職種に従事し、かつ年齢55歳以上で同一職種における経験年数が25年以上の者。また、優秀な技能を有し、人格、指導性等他の技能者の模範と認められる者	対象人数(人) 74
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	広く技能尊重の気風を浸透させ、技能者の地位及び技能水準の向上を図る。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 各地区自治会長及び規程に定められている全職種の代表者に対し、対象要件を備えている者の中から各2名以内を推薦依頼。その後、技能功労者選考委員会を開催し、被表彰受賞者候補の選考を行い、受賞者を決定する。表彰式典については、南あわじ市商工会優良従業員表彰と合同で開催する。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 当該年度において優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者を表彰することにより、技術尊重の気運を高めるとともに技能者の地位と向上を図ることを目的に実施している。他の自治体では広く候補者の掘り起こしを試み、情報収集をきめ細かく行うのに十分な時間を設けるため、実施時期を2年に1回としているところもある。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧4町でそれぞれ実施されていた事業であり、事業内容は、ほぼ同一であった。規程等については関係団体等からの推薦を盛り込んでいた旧南淡のものをベースに作成し、新市の規程とした。新市から選考委員会要綱を制定し、平成18年度には規程の一部を改正し、職種の追加を行った。さらに優秀な技能者の枠を広げるため、平成20年度には職種の追加を行い、23職種から25職種へとより広い職種を対象としている。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	被表彰者数予定充足率				指標単位
						%
	指標説明 (指標算出 方法等)	被表彰者数 / 被表彰者予定 20名				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	目標値	20	20	20	20	20
	実績値	20	17	17	21	
	達成度 (%)	100.0	85.0	85.0	105.0	-
目標値設定 の考え方	表彰予定者数を20名程度としている。					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費 (千円)	290	287	282	362	351
	報償費	290	245	247	322	303
	需用費		40	33	40	46
	役務費		2	2	0	2
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	290	287	282	362	351
	人件費(正規職員)[B] (千円)	2	2	2	2	2
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)	10	10	10	10	10
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
年間経費([A]+[B])	292	289	284	364	353	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	3,945.9	3,905.4	3,837.8	4,918.9	4,770.3	
経費に関する 補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	100.0	85.0	85.0	105.0	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 現予定表彰者数に対し、適正なる人選の結果を踏まえ、ほぼ目標が達成されているものと思われる。						(自己評価) (5点評価)	3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 各業界の限られた職種の中から優れた技能をもって市の産業の発展の功労のあった技能者に対し表彰しているものであり、成果は十分に得られていると思われる。						(自己評価) (5点評価)	3
			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	3,945.9	3,905.4	3,837.8	4,918.9	4,770.3	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 経費の大半は表彰者への記念品・盾型表彰状であり、一生に一度の表彰記念品等として相応しい贈答品である。その他の経費は極力計上することなく、事業の実施を行っている。						(自己評価) (5点評価)	3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市内全体の住民において広く対象者の推薦を呼び掛けている。よって、技能功労者表彰は技能者の励みとなり、勤労意欲の維持・向上及び技術水準の向上に重要な役割を果たしており、市民ニーズにおいても必要性は高い。						(自己評価) (5点評価)	4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		市内の産業に従事する者が各業界における指導者としての意識と責任を喚起し、後継者育成の一助を担うものであり、継続していくことで産業における土壌作りとしての成果を期待できるものである。また、技術向上の機運を浸透させ、産業活力の基盤である技能・技術水準の向上、その継承を図るためにも功労者の表彰は行政が行うことに意義があると思われる。					
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	南あわじ市の産業の基盤を形づくる重要な事業であり、継続していくことでその成果を得ることができる。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 南あわじ市の産業の基盤を形づくる重要な事業であり、継続していくことでその成果を得ることができる。これらの観点から事業の中止を行うことが勤労意欲や後継者育成などの意識低下に繋がりさらには産業全般において低迷の一途をたどる一因にもなりうる可能性を秘めているものと思われる。	